

第2回板橋区観光振興ビジョン策定検討委員会 議事要旨

- 日 時 令和7年2月18日（火）14時30分～16時30分
 - 場 所 板橋区役所南館6階 教育支援センター研修室
 - 出席者 安島委員長、中野副委員長、武部委員、宮口委員、渡辺委員、高田委員、島田委員、別府委員、藤咲委員、伊東委員、平岩委員、家田委員
 - 傍聴者 なし
 - 配布資料 資料1 板橋区観光振興ビジョン2035（骨子案）
参考資料 今後のスケジュール
 - 次 第
 - 1 開会
 - 2 議題
板橋区観光ビジョン2035の骨子案について
 - 3 閉会
-

主な議論内容

1 観光振興ビジョンの方向性について

(1) 基本理念の明確化が必要

「歴史/文化/自然が息づく、暮らす・訪れる魅力あるまち」というタイトルは観光よりもまちづくりに感じられるとの指摘があった。（別府委員）

(2) 観光の定義と目的の明確化

誰のための観光か、何のための観光かの定義が不明確との意見が出された。（渡辺委員、宮口委員、武部委員）

(3) 区民のための観光を重視

委員長より「板橋区の場合、まずは区民にとっての観光がどうあるべきかが第一」との見解が示された。

(4) 合意された方向性

「住み続けたいと思う区民と移り住みたいと思う来訪者を増やす」ことを目標とする方向性で進めることが確認された。

2 その他委員からの主な意見

(1) 歴史的資源の活用

- ① 他区にはない縄文時代から始まる歴史的資源を活かすべき（別府委員）
- ② 史跡公園など加賀を中心とする歴史、文化、自然をこれから10年間推していくのかどうかということは確認したい。（中野委員）

(2) 資源の価値創造の必要性

- ① 単に資源があるだけでなく、新たな価値創造やストーリー作りが必要（安島委員長）
- ② 外国人であっても板橋って住みやすいよねというような視点があると素晴らしい。海外の方に積極的に訪れてもらいたいという視点はあるのか。（武部委員）
- ③ ボローニャやバーリントンなど国際交流の視点は重要（渡辺委員、安島委員長）
- ④ 絵本事業は成功例なので強化していくべき。（武部委員）
- ⑤ 観光資源の大事なことは一番だということ。地域で一番、日本で一番などの観光資源が小さくても価値がある。（安島委員長）
- ⑥ 体験型など板橋区独自の非日常を作っていくべき。（渡辺委員）
- ⑦ ライフスタイルツーリズムを切り口に深堀して議論することが必要。（宮口委員）

(3) 観光振興の手法

- ① ステークホルダーマネジメントを活用し、区民、事業者、観光客など関係者ごとの期待と役割を整理すべき。（宮口委員）
- ② 景観賞など他部署との連携や、中山道・川越街道などを通じた他地域との連携が重要。（島田委員、安島委員長、別府委員）

(4) 言葉の定義と使い方

「まちづくり」「ブランディング」など専門用語の使い方に注意が必要。（渡辺委員）

3 今後の進め方

骨子案でどういう方向でいくのか枠組みを作り、委員からの意見を踏まえて、骨子案をもう一度整理する。具体的なアイデアについては、素案作りの際に提案していただく。

4 スケジュール

3月に庁議、4月に議会報告、9月頃に素案作成、12月上旬に最終案を議会に提出予定。